

# あま市巡回バスのあり方を定める「指標項目」等

## 指 標

試行運行後のあま市巡回バスのあり方を判断する材料となる「確認項目」及び「指標項目」は、右の「確認項目及び指標項目一覧（素案）」の通りとなります。

「確認項目」及び「指標項目」の位置付けについては、以下の通りとなります。

## 確認項目

あま市内の公共交通のあり方については、第1次あま市総合計画及びあま市都市計画マスタープランにおいてそれぞれ明記されております。それらを踏まえて、あま市内の公共交通を確保するため「**移動に困っている高齢者等の日常生活を支えることを目的**」として、現在あま市巡回バスを運行しております。

「確認項目」は、あま市巡回バスの運行目的を達成するため、市内の高齢者等の状況を確認するとともに将来予測にも役立てるものとなっております。

各項目の数値によっては、あま市の公共交通施策のあり方について今後協議する必要が出てまいります。

## 指標項目

「指標項目」は、試行運行後のあま市巡回バスのあり方を判断する材料となります。項目ごとに数値を定め、その数値を「**目標数値**」として各項目の基準とします。平成31年度以降に「目標数値」の達成状況を確認し、試行運行後のあま市巡回バスのあり方について協議してまいります。この「**目標数値**」は、平成31年度中に設定いたします。

また、「指標項目」のうち、試行運行後のあま市巡回バスのあり方を判断する上で**特に重要となる項目**を「**重点項目**」として指定します。

## 重点項目

「重点項目」に指定された「指標項目」は、試行運行後のあま市巡回バスのあり方を判断する上で特に重要となる項目であることから、**最低限満たすべき項目**とします。「重点項目」は、「指標項目」の中から**3項目程度**を指定する予定となります。

## 数値及び目標数値

「確認項目」の「数値」及び「指標項目」の「目標数値」は、平成30年9月末時点の数値を案と表記しております。「目標数値」は、平成31年度中に協議し、各項目設定してまいります。

試行運行後のあま市巡回バスのあり方は、「指標項目」の達成状況を勘案し、総合的に判断してまいります。特に「重点項目」に指定された「指標項目」の達成状況は重要な判断材料となります。

また、「指標項目」の「目標数値」に満たない場合や「確認項目」における「数値」が増加傾向にある場合は、**あま市巡回バス以外の他の交通手段も含め検討**を進めてまいります。

仮に、廃止と判断した場合であっても、利用者への周知及び他の代替手段を検討したうえで廃止といたします。

## 確認項目及び指標項目一覧（素案）

確 認 項 目		数 値 (参考)	左記算出方法
想定利用者	高齢者数（65歳以上）	23,211人	住民基本台帳
	高齢者率	26.1%	住民基本台帳
	無料乗車券発行枚数	553枚 103枚 62枚	75歳以上 障がい者 運転免許証自主返納者
	無料乗車券の利用割合	83.1%	平成28年11月～平成29年10月 無料乗車券利用者数÷総利用者数
	<b>運転免許証自主返納者数</b>		<b>H29年 254人</b> <b>H30年 252人</b>
他の移動手段	福祉有償運送利用者数 （登録者数・述べ利用者数）	11名・〇名 〇名・3名	地域人権ゆうあい会 ひとまち生活ネット津島
	移動援助サービス事業 （平成29年10月開始）	12件 31人	登録件数 延べ利用者数

指 標 項 目		目 標 数 値 (参考)	左記算出方法
公共交通	あま市巡回バスの認知度	79.1%	H28年度アンケート結果 全体・年齢別
	地域公共交通施策に対する 市民の理解	50.6%	H28年度アンケート結果
利用状況	平均利用者数 （1便当り）	4.2人 5.7人 1.8人	北部巡回ルート 南部巡回ルート 東部巡回ルート
	1日当りの利用者数の推移 （平均成長率の推移）	-0.56% -2.64%	運行開始時 新ルート運行開始時
	利用率	1.4%	H28年度アンケート結果
	市民一人当りの利用回数	0.10回/年	平成28年11月～平成29年10月 年間利用者数÷人口
運行事業費	収支率	0.7%	平成30年度 運賃収入÷運行経費
	一人当りの輸送費用	3,188円	平成29年度 (運行経費－運賃収入)÷利用者数
	市民一人当りの経費負担額	343円	平成29年度 運行経費÷人口
	歳出に占める運行事業費	0.12%	平成28年度（決算） 運行事業費÷歳出総額